

改編・再編・さあ大変？！

千葉県公立高等学校事務職員会
夷隅支部研究グループ

発表者

ちばけんりつおおたきこうとうがっこう
千葉県立大多喜高等学校

しゅにんしゅじょうのあきこ
主任主事 宇野 晃子

はじめに

近年、学校教育を取り巻く環境は少子化の進行や価値観の多様化等により大きく変わりつつあります。

全国各地で高等学校教育の見直しははかられ再編整備が進んでいます。千葉県でも平成10年11月千葉県高等学校将来計画協議会設置に始まり、14年11月県立高等学校再編計画及び第1期実施プログラム決定、16年5月第2期実施プログラム決定と再編計画が進んでいます。私たち夷隅地区でも統合が行われておりますが、「これはどうなるの?」「あれはどうするの?」とわからない事ばかりです。そこで再編に係る事務にはどのようなものがあるのか研究してみました。

第1期 実施プログラム（要約版）

統 合（学校名については今後検討）

対象高校	使用校舎	実施年度	設置学科	備 考
幕張総合 若葉看護	幕張総合	16年度	普通科 看護に関する学科	若葉看護高校の校舎等は実習施設等として使用。 17年度から看護科に専攻科を設置し、看護師養成の5年間一貫教育を実施。
大多喜 大多喜女子	大多喜	16年度	普通科 外国語に関する学科	大多喜女子高校の15年度の募集を停止。 16年度の使用校舎については、今後検討。
勝浦 御宿	勝浦	17年度	総合学科	現在ある水産科、商業科、家庭科及び普通科を生かし改編する。御宿高校は17年度の募集を停止し、校舎は18年度まで継続して使用。専攻科（情報通信）は他校に移管。
鶴舞商業 市原園芸	鶴舞商業	17年度	農業に関する学科 商業に関する学科	環境系の教科・科目を置く。 市原園芸高校の校舎等は実習施設等として使用。
市川工業 葛南工業	市川工業	18年度	工業に関する学科	全日制・定時制の併置。
野田北 野田	野田北	18年度	普通科	定時制の課程は18年度の募集を停止し、20年度まで現在の野田高校校舎を使用。
茂原農業 茂原工業	茂原農業	18年度	農業に関する学科 工業に関する学科	（仮称）総合技術高校。 専攻科（農業）は継続。

※安房水産高校については、統合の方向で引き続き検討。

単位制高校（全日制）（総合学科を除く）

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
佐原女子	15年度	普通科	共学化を実施。佐原白楊高校に校名変更。
幕張総合（再編）	15年度	普通科	統合の欄を参照。 16年度若葉看護高校と統合。
佐倉	17年度	普通科	
長生	17年度	普通科、理数に関する学科	
成田国際	18年度	普通科 国際理解に関する学科	現在ある英語科と国際教養科を国際人文科に改編する。
松戸国際	18年度	普通科、国際理解に関する学科	

総合学科（全日制）

対象高校	実施年度	設置系列	備考
八 街	14年度	人文、自然、商業、情報、生活	
君津青葉	15年度	情報、土木、文理、環境、生活等	現在ある総合学科、生物技術科、生物工学科を改編して、総合学科単独校とする。
安房農業	17年度	園芸科学、畜産科学、農業工学、生活食品、人文等	現在ある生産技術科、農業工学科、農業経済科、食品調理科を生かし改編する。
勝 浦 御 宿（再掲）	17年度	観光・商業、海洋生物、福祉、人文等	統合の欄を参照。

中高一貫教育校（全日制）

対象高校	実施年度	設置学科	備考
関 宿	16年度	普通科	関宿町立木間ヶ瀬、二川、関宿中学校の3校と連携。

共学化（全日制）

対象高校	実施年度	設置学科	備考
若葉看護（再掲）	14年度	看護に関する学科	統合の欄を参照。平成16年度幕張総合高校と統合。
佐原女子（再掲）	15年度	普通科	単位制の欄を参照。
松 戸	16年度	普通科、芸術に関する学科	芸術科を設置し、美術・工芸の2つの類型を置く。
茂 原	16年度	普通科	
大多喜女子（再掲）	16年度	普通科、外国語に関する学科	統合の欄を参照。平成16年度大多喜高校と統合。
佐倉東	17年度	普通科、家庭に関する学科	調理系、デザイン系を置く。
御 宿（再掲）	17年度	総合学科	統合の欄を参照。平成17年度勝浦高校と統合。
松 尾	18年度	普通科	福祉系コースを置く。
野 田（再掲）	18年度	普通科	統合の欄を参照。平成18年度野田北高校と統合。

芸術科等の設置（全日制）

対象高校	実施年度	設置学科	備考
松 戸（再掲）	16年度	普通科 芸術に関する学科	共学化の欄を参照。 芸術科を設置し、美術・工芸の2つの類型を置く。
千葉商業	16年度	商業に関する学科	観光系の教科・科目を置く。商業教育の拠点校。
鶴舞商業 市原園芸（再掲）	17年度	農業に関する学科 商業に関する学科	統合の欄を参照。 環境系の教科・科目を置く。

三部制定時制高校

対象高校	実施年度	設置学科	備考
松戸南	18年度	普通科	全日制との併置については、今後検討。

通信制独立校

対象高校	実施年度	設置学科	備考
千葉大宮	18年度	普通科	全日制を通信制に転換し、通信制の独立校にする。 17年度の全日制募集を停止。18年度から通信制募集を開始し、あわせて千葉東高校通信制在校生の転入。19年度から通信制独立校。

第2期 実施プログラム案（要約版）

統 合

対象高校	使用校舎	実施年度	設置学科	備 考
柏 西 柏 北	柏 西	19年度	普通科 情報に関する学科	現在ある柏北高校情報コースを発展させ、情報科を設置。
流山中央 流山東	流山中央	20年度	普通科 国際理解に関する学科	
銚子商業 銚子水産	銚子商業	20年度	商業に関する学科 水産に関する学科	銚子水産高校の校舎等は実習施設等として使用。 18年度に、両校の学科を再構成するとともに、勝浦高校の専攻科（情報通信）を銚子水産高校に移管。
山武農業 白 里	山武農業	20年度	普通科 農業に関する学科	
安 房 安房南	安 房	20年度	普通科 外国語に関する学科	
館 山 安房水産	館 山	20年度	工業に関する学科 商業に関する学科 水産に関する学科 家庭に関する学科	（仮称）総合技術高校 安房水産高校の校舎等は実習施設等として使用。 18年度に両校の学科を再構成。 専攻科（航海、機関）は継続して設置。

単位制高校の設置（総合学科を除く）

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
市原八幡	18年度	普通科	
千葉東	20年度	普通科	
船橋西	20年度	普通科	

併設型中高一貫教育校の設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
千 葉	20年度	普通科	新たに県立中学校を併設。 19年度に定時制の課程の募集を停止。 20年度に定時制の課程の在校生は生浜高校に転学。

共学化

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
銚 子	19年度	普通科	17年度に家政科の募集を停止。
安房南（再掲）	20年度	普通科、外国語に関する学科	安房高校と統合。

情報科等の設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
君 津	18年度	普通科	英語系コースを設置。 17年度に市原高校英語科の募集を停止。
柏 西 柏 北（再掲）	19年度	普通科 情報に関する学科	統合の欄を参照。

三部制定時制高校の設置

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
生 浜	19年度	普通科	17年度に全日制の課程の募集を停止。 20年度に千葉高校定時制の課程の在校生転入。

千葉ニュータウン地区については、印旛高校を平成21年度に移転する方向で引き続き検討する。



「夢・元気・集う」

県立高等学校を目指して

県立高等学校再編計画

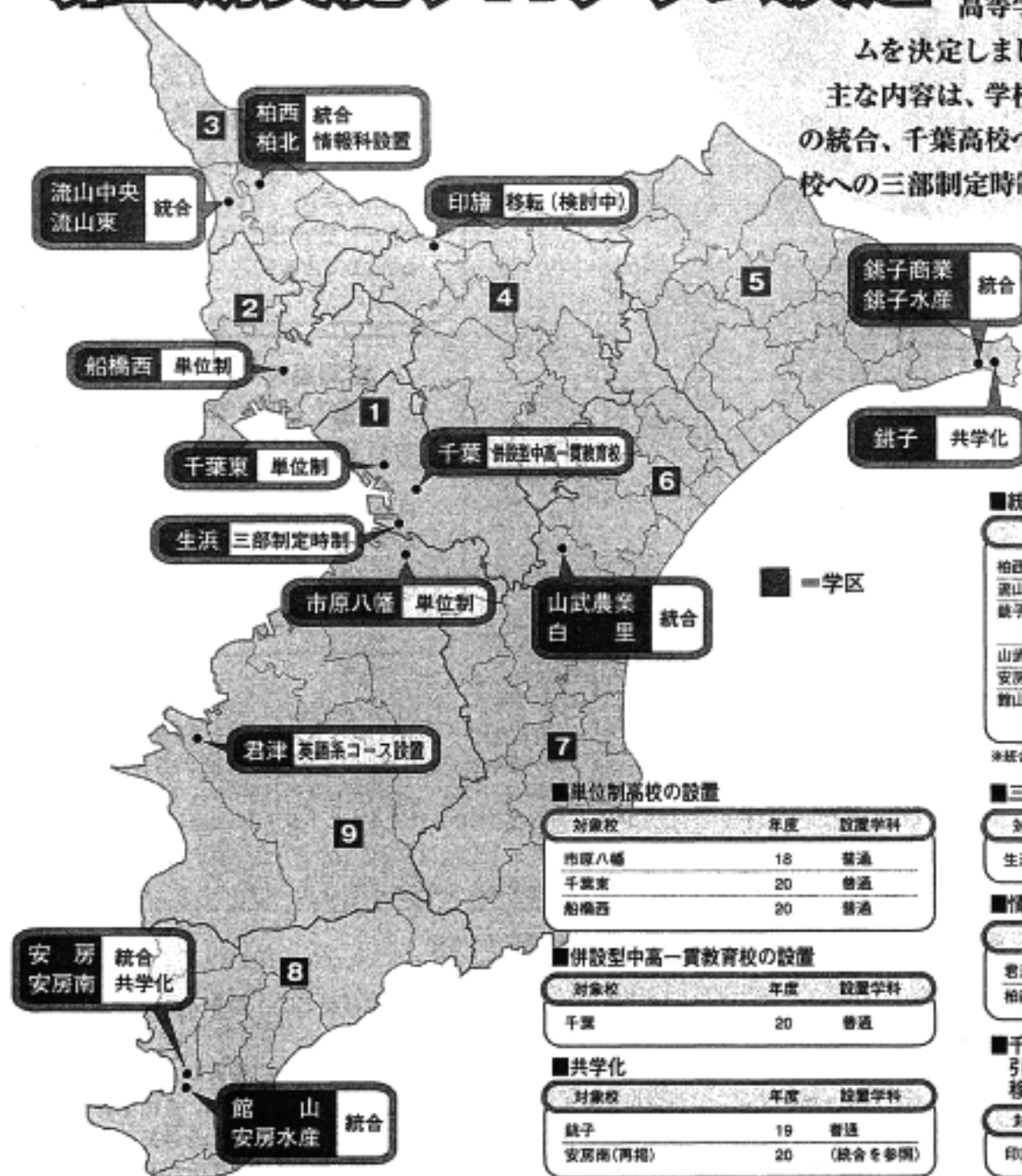
第2期実施プログラム決定



県教育委員会では、このたび、県立高等学校再編計画第2期実施プログラムを決定しました。

主な内容は、学校規模の適正化のための12校6組の統合、千葉高校への中高一貫教育の導入、生浜高校への三部制定時制の課程、柏西高校と柏北高校の統合校への県内初の情報科の設置などです。

また、単位制高校の設置や女子校の共学化も実施します。



■統合(校名については、今後検討します。)

対象校	使用校舎	年度	設置学科
柏西・柏北	柏西	19	普通、情報
流山中央・流山東	流山中央	20	普通、国際理解
銚子商業・銚子水産	銚子商業	20	商業、水産
(銚子水産の校舎等は併用)			
山武農業・白里	山武農業	20	普通、農業
安房・安房南	安房	20	普通、外国語
館山・安房水産	館山	20	工業、商業、水産、
(安房水産の校舎等は併用)			

※統合時の在校生は、入学時の学科で、使用校舎隣の校舎で学習します。

■三部制定時制高校の設置

対象校	年度	設置学科	備 考
生浜	19	普通	全日制の課程を併置

■情報科等の設置

対象校	年度	設置学科	備 考
君津	18	普通	英語系コースを設置
柏西・柏北(再編)	19	普通、情報	(統合を参照)

■千葉ニュータウン地区については、下記の方で引き続き検討する。

対象校	年度	設置学科	備 考
印旛	21	普通	千葉ニュータウン地区へ移転 単位制を導入

■単位制高校の設置

対象校	年度	設置学科
市原八幡	18	普通
千葉東	20	普通
船橋西	20	普通

■併設型中高一貫教育校の設置

対象校	年度	設置学科
千葉	20	普通

■共学化

対象校	年度	設置学科
銚子	19	普通
安房南(再編)	20	(統合を参照)

統合までの経過

大多喜高校・大多喜女子高校

勝浦高校・御宿高校

10年11月

千葉県高等学校将来計画協議会設置

14年11月

県立高等学校再編計画及び第1期実施プログラム決定

15年 1月

統合準備室設置

第1回会議

使用校舎アンケート結果報告(大多喜女子高1年生徒対象),
新校名アンケート(両校生徒・保護者対象),統合関係全般,教育
課程,今後の作業スケジュール

3月

第2回会議

新校名アンケート結果報告,使用校舎,各委員会検討事項,今後
の作業スケジュール

4月

第3回会議

公募での新校名募集,校舎併用の利点・問題点,各委員会準
備状況,検討事項

5月

第4回会議

新校名公募結果報告・分析,新校名・校舎併用申請内容決定
校舎・教育目標

6月

7月

使用校舎の決定通知

8月

9月

第5回会議

各委員会準備状況・検討事項,16年度生徒募集

10月

校名の決定通知

12月

16年 1月

第6回会議

新校リーフレット配布,新校説明会(16.10中校・御宿校),大多喜
女子高校舎の呼称,危機管理体制,15年度末・16年度の式典
16年度行事予定,制服着用方法,新校の組織と業務内容の
決定(大多喜高のものを原則とする)

2月

3月

第7回会議

危機管理体制,15年度末・16年度の式典,16年度行事予定,
制服着用方法

4月

統合

5月

第2期実施プログラム決定

使用校舎決定

統合準備室設置

第1回会議

統合計画の概要,系列,統合関係全般

第2回会議

統合準備組織・各組織の所管事務・今後の作業スケジュール,統合関
係全般

第3回会議

各委員会準備状況,教育課程,施設設備,先進校視察,校名,系列

第4回会議

教育課程,校名,系列

第5回会議

系列名の改称,教育課程,校名募集,新校の基本的方向性

第6回会議

制服,施設改修,教育課程

第7回会議

教育課程,校名候補(選出),新校後援会,17年度行事,制服,施設
設備

第8回会議

教育課程,校名候補,施設改修

第9回会議

施設設備,教育課程,校名候補(決定)

第10回会議

校名,教育課程,制服,生徒会,進路指導,施設改修,魅力ある高
等学校づくりチャレンジ推進事業,16年度行事・準備組織

第11回会議

16年度業務計画,教育課程,制服,施設改修,新校の基本的方向
性

第12回会議

教育課程,入学者選抜,教科書,新校説明会(16.6中校・御宿校),
施設設備,制服決定

第13回会議

準備作業の進捗状況・今後の日程,校歌・校章,新校・総合学科説
明会(16.8中校・御宿校)アンケート結果報告,施設改修,福祉実習施設

校名の決定通知

校歌・校章募集16.10.1～16.10.31

第14回会議

校歌・校章決定,校則(県へ承認申請),教務関係,中学校説明会
(16.10御宿校),施設設備,PTA・後援会会則

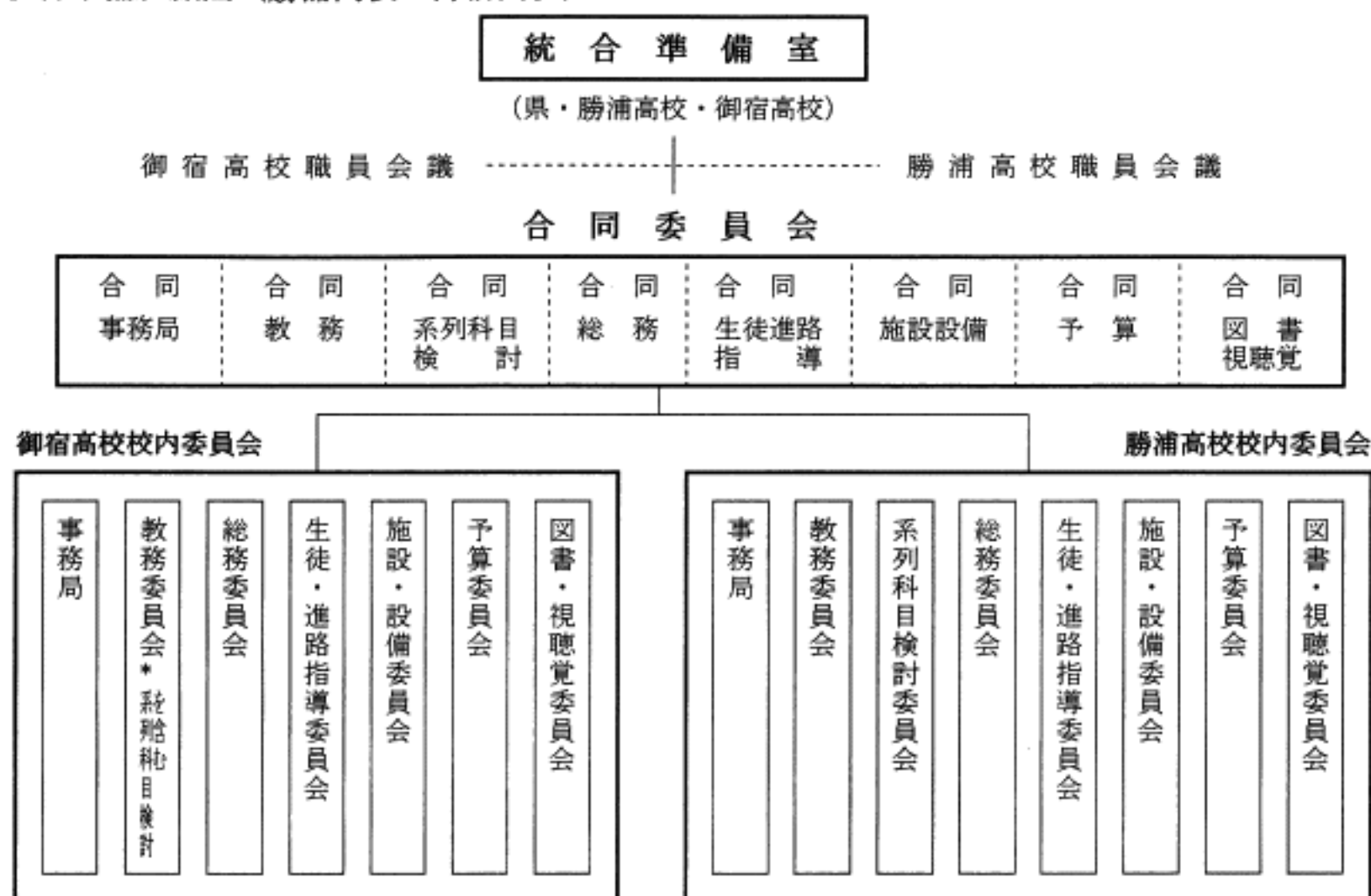
第15回会議

教育目標・校訓・教育方針,教育課程,内規・PTA同窓会規約,校歌
歌詞,進路指導,新年度当初の予定,校務分掌

校則の承認

統合

統合準備組織図（勝浦高校・御宿高校）



統合時の状況

	大多喜・大多喜女子高校の場合（16年度）		勝浦・御宿高校の場合（17年度）	
	大多喜校舎	森宮校舎	勝浦校舎	御宿校舎
学級数	普 通 14 英 語 3	普 通 1(3年)	総 合 4(1年) 漁 業 2 水産製造 2 情報通信 2 商 業 2 専 攻 2	普 通 4(2・3年) 英語イン 2(2・3年)
現金払込店	千葉銀行大多喜支店	千葉銀行大多喜支店	千葉銀行勝浦支店	千葉銀行御宿支店
職員数	校 長 1 教 頭 1 教 務 長 1 教 員 42 養護教諭 1 実習助手 1 事務職員 3 用 務 員 1	校 長 1 教 務 長 1 教 員 3 養護教諭 1 実習助手 1 事務職員 1 用 務 員 1	校 長 1 教 頭 1 教 務 長 1 教 員 38 養護教諭 1 実習助手 7 事務職員 4 用 務 員 2	校 長 1 教 務 長 1 教 員 16 養護教諭 1 実習助手 1 事務職員 2 用 務 員 1
事務職員の分掌	森宮校舎常駐者は主に統合に係る事務を担当		校舎ごとに仕事を分担	

改編に伴うQ&A

Q. 質問事項		備考 関係法規等 参考事項
A. 大多喜・大多喜女子高校の場合	A. 勝浦・御宿高校の場合	
Q 1 校名		
・『大多喜高校』 ・公募 ・県議会(条例)で決定 ・大多喜女子高校校舎呼称『森宮校舎』は校内で決定	・『勝浦若潮高校』 ・公募 ・県議会(条例)で決定 ・御宿高校校舎呼称『御宿校舎』は校内で決定	高等学校設置条例の一部を改正する条例
Q 2 公印		
・大多喜女子高校の公印を廃止 ・旧大多喜高校のものをそのまま使用	・旧両校の公印を廃止 ・勝浦若潮高校分を作成	行政文書規程 8・9 条 教職員課管理室が窓口 外郭団体の印も作成
Q 3 校歌・校章		
・旧大多喜高校のものをそのまま使用	・校歌 公募したが応募がなかったため、勝浦高校の校歌を手直ししたものを採用 ・校章 公募したが応募がなかったため専門業者の提案したデザインから両校生徒・職員へのアンケートをもとに両校職員会議、統合準備室会議で承認・決定	
Q 4 校則・内規		
・校則 旧大多喜高校のものをそのまま使用 ・内規 旧大多喜高校のものをそのまま使用(ただし数項目については、大多喜女子高校の生徒だった者に限り大多喜女子高校の内規を適用)	・校則 統合準備室長より教育委員会へ承認申請(15・16年度入学生については旧校の校則を適用) ・単位制の課程に在学できる期間についても承認申請を行った ・内規 見直し、統一	管理規則 2 条 2 項 管理規則 4 4 条の 5
Q 5 PTA・後援会・生徒会・同窓会の組織、会則		
・PTA・後援会・生徒会 大多喜高校の団体にそれぞれ組み入れる ・同窓会 大多喜高校に組み入れ、女子高支部とする	・PTA・後援会 会則(案)を作成、両校職員会議、統合準備室会議で承認後、各役員会等で協議後、総会で正式決定 ・生徒会 御宿高校は分会として残す 活動は校舎ごと(行事によっては交流するものもあり) ・同窓会 現在は校舎ごとに活動 完全統合後については検討中	

Q. 質問事項		備考 関係法規等 参考事項
A. 大多喜・大多喜女子高校の場合	A. 勝浦・御宿高校の場合	
Q 6 諸団体費		
・旧大多喜高校のものを適用 (大多喜女子高校分を繰り入れる)	・移行時は、各校それぞれのものを適用 ・徴収はまとめて一本でおこない、 校舎・団体ごとに配分し運用	
Q 7 移行期の行事		
・校旗返納 大多喜女子高校としての15年度最後の終業式に校旗返納を行う ・統合関係行事 16年度始業式前に統合式を行う 両校の校歌を斉唱 ・16年度卒業式 両校の校歌を斉唱 ・芸術鑑賞・文化祭等の行事 すべて合同	・開校記念式典 17年6月実施 式典(校旗・校歌紹介他)及び記念講演 ・芸術鑑賞 合同 ・文化祭 校舎ごと ・卒業式 17年度は校舎ごと	
Q 8 創立記念日		
・旧大多喜高校のものを適用	・両校の沿革より、戦後の学制改革時に統合の歴史があったので、その開校式の行われた日を採用	
Q 9 修学旅行		
・該当学年なし	・校舎ごと(17年度)	
Q 10 制服		
・大多喜高校のものに統一 大多喜女子高校の生徒だった者については両用を認める	・決定されていた専門業者の提案を基にアンケートを実施しながら合同生徒指導委員会を中心に検討を進め両校職員会議、統合準備室会議で承認決定 ・ボタンのデザインには校章を採用 ・在校生については変更なし	
Q 11 体操服・上履き		
・Q 10に同じ	・在校生は変更なし ・新1年生から体操服のみ変更(上履きは勝浦高校のもの)	
Q 12 卒業生の証明書		
・受付～交付までの例：P 132	・校舎ごとに受付・交付(卒業生台帳等は校舎ごとに管理) ・御宿校舎交付分は、発行番号の記入公印の押印を勝浦校舎で処理	統合した場合の卒業証明書の例 ：P 132

Q. 質問事項		備考 関係法規等 参考事項
A. 大多喜・大多喜女子高校の場合	A. 勝浦・御宿高校の場合	
Q 1 3 在校生の証明書		
・受付～交付までの例：P 1 3 2	・Q 1 2 に同じ	
Q 1 4 勤務時間・日課		
・大多喜高校のものを適用	・勤務時間は統一 ・日課はほぼ同一	学校職員の勤務時間 に関する規則
Q 1 5 教育財産		
・大多喜女子高校から大多喜高校へ 所属換	・御宿高校から勝浦高校へ所属換 ・勝浦高校から勝浦若潮高校へ校名 変更	
Q 1 6 借り受け財産		
・該当なし	・該当なし	
Q 1 7 教育財産使用許可		
・使用許可の途中のもの 処理なし ・新規 4月1日処理	・使用許可の途中のもの 処理なし ・新年度分 旧年度中に旧校名で処理及び4 月1日に新校名で処理 使用料については4月1日に勝 浦若潮高校で調定	
Q 1 8 備品		
・不用決定、廃棄は3月31日まで に処理 ・3月31日付けで大多喜女子高校 から大多喜高校へ保管換(出納簿 は同じ品目があっても追加せず、 新規作成)	・不用決定、廃棄は3月31日まで に処理 ・3月31日付けで御宿高校から勝 浦高校へ保管換 ・4月1日、勝浦高校から勝浦若潮 高校へ校名変更(出納簿の記載はな し) ・出納簿は校舎ごとに管理	財務規則192条
Q 1 9 消耗品		
・大多喜女子高校分を大多喜高校へ 繰越処理	・両校とも勝浦若潮高校へとして繰 越処理 ・校舎ごとに管理	財務規則192条 「物品」の一区分なの で備品同様に処理

Q. 質問事項		備考 関係法規等 参考事項
A. 大多喜・大多喜女子高校の場合	A. 勝浦・御宿高校の場合	
Q 2 0 施設・設備に係るその他		
・理振台帳、産振台帳 大多喜女子高校分を大多喜高校 へ所属換	・理振台帳 御宿高校分を勝浦高校へ所属換、 校名変更 ・産振台帳 御宿高校分を勝浦高校へ所属換 え、勝浦若潮高校として新たに 作成	
Q 2 1 契約		
・電話保守、消防設備、機械警備、 消火器借上 校舎別に契約	・電話保守、消防設備、機械警備、 消火器借上 校舎別に契約	
Q 2 2 公共料金		
・校舎ごとに処理	・校舎ごとに処理	
Q 2 3 分任出納員、資金前途吏員の事務引継書		
・大多喜女子高校分を引継	・両校分を新校へ引継 ・資金前渡の口座は勝浦高校のものを 新校へ引継ぎ、御宿高校の口座 は廃止	財務規則 2 3 3 条
Q 2 4 防火管理者		
・大多喜女子高校の解任届 ・校舎別の選任なし	・校舎ごとに選任	消防法 8 条、同法施行規則 4 条 管理規則 6 8 条
Q 2 5 業務系ネットワーク		
・事前調査により個別に移転作業 ・財務システムに係る暫定暗証番号は出納局より 3 月に配布される		
・森宮校舎は給与端末・財務端末とも 廃止、配布パソコン事務職員分 のみ	・御宿校舎は給与端末廃止、財務端末 及び配布パソコン事務職員分(財務 端末については事前に要望)	
Q 2 6 債務者コード		
・出納局で新所属コードに一括処理		
Q 2 7 授業料口座振替		
・両校の事例とも生徒コードが重複する生徒がいなかったため千葉銀行本部 で所属コードの変更がされた(学校での処理なし)		
・減免者については所属コードの変 更者の異動報告を行う(データが 移行されない)	・減免者については特に処理なし (データが移行された)	

Q. 質問事項		備考 関係法規等 参考事項
A. 大多喜・大多喜女子高校の場合	A. 勝浦・御宿高校の場合	
Q 2 8 授業料振替不能者		
・ 大多喜校舎で対応	・ 校舎ごとに対応 (領収済通知書は一連の番号で発行)	
Q 2 9 収入未済処理		
・ 収入未済なし	・ 6 月 1 日付けで年度の繰越等を行い新しい納付書を発行	
Q 3 0 所得税徴収関係		
・ 大多喜女子高校の給与支払事務所の廃止届	・ 勝浦高校・御宿高校の給与支払事務所の廃止届 ・ 勝浦若潮高校の給与支払事務所の開設届	所得税法 2 3 0 条
Q 3 1 社会保険加入関係		
・ 大多喜女子高校の全廃届	・ 御宿高校は全廃届 ・ 勝浦高校は名称変更届	
Q 3 2 労災保険・雇用保険の事業主関係		
・ 大多喜女子高校の廃止届	・ 労災保険 御宿高校は廃止(精算のみ行う) 勝浦高校は名称変更届 ・ 雇用保険 前年度適用者がいなかったため適用事業所設置届より手続き開始	二元適用
Q 3 3 歳入歳出外現金の年度末処理		
・ 大多喜女子高について、年度の繰越、所属の変更に伴う更正決議・登録、払戻の処理	・ 両校とも年度の繰越、所属の変更に伴う更正決議・登録、払戻の処理	通常の年度の繰越・払戻の他、所属の変更処理を伴う
Q 3 4 文書処理		
・ 受付、回覧の例：P 1 3 2	・ 校舎ごとに受付・回覧 ・ 教育庁等からの文書は勝浦校舎で受付・回覧(御宿校舎に必要な文書はコピーを配布・回覧) ・ 起案文書も校舎ごとに処理・保存 ・ 文書番号は一連	
Q 3 5 文書分類表・目録		
・ 分類表 旧大多喜高校のものを適用 ・ 目録 大多喜女子高校分を別に提出	・ 分類表 旧勝浦高校のものを適用 ・ 目録 1 6 年度分は校舎ごとに作成	県立学校行政文書規程 1 2 条 同 3 5 条 教職員課管理室へ

Q. 質問事項		備考 関係法規等 参考事項
A. 大多喜・大多喜女子高校の場合	A. 勝浦・御宿高校の場合	
Q 3 6 文書の廃棄・保存		
・廃棄 保存期間の経過したものを廃棄 ・保存 大多喜女子高校分として保存	・廃棄 校舎ごとに廃棄 ・保存 校舎ごとに保存	県立学校行政文書規 程 3 8 条 同 3 6 条
Q 3 7 改編に伴う経費		
・施設課一般整備、企画財務課運営費、県立学校改革推進課 等		
Q 3 8 給与の支給方法（明細、現金受領者等）		
・森宮校舎常駐者の現金受領者なし ・明細は森宮校舎へ届ける	・御宿校舎の現金受領者 1 名（事務長 が御宿校舎へ） ・明細は 2 部出力、校舎ごとに受領 印を徴収	
Q 3 9 校名変更に係る履歴書の処理		
・大多喜女子高校から異動する者の み校名変更の発令を記載 ・事務職員については異動発令を記 載	・勝浦高校・御宿高校から異動する 全員について校名変更の発令を記 載 ・事務職員については異動発令を記 載	
Q 4 0 両校舎の授業をする職員の移動に係る経費		
・通勤手当及び旅費で対応	・すべて旅費で対応	旅費 交通費のみ支給、 雑費（ 副読本 ）の支 給なし

統合した場合の卒業証明書の例

●●証第 号

卒業証明書

氏名
昭和 年 月 日生

上記の者は平成 年3月千葉県立☆☆高等学校
全日制の課程普通科を卒業したことを証明する。

平成 年 月 日

千葉県立●●高等学校長 ○ ○ ○ ○

●●証第 号

卒業証明書

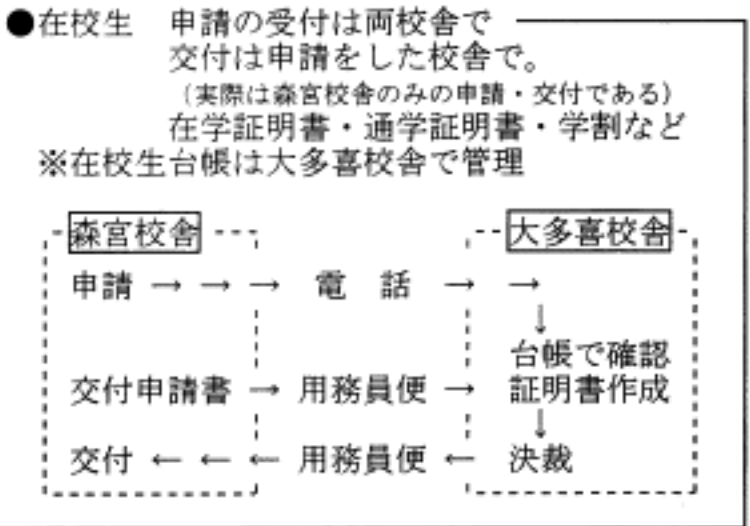
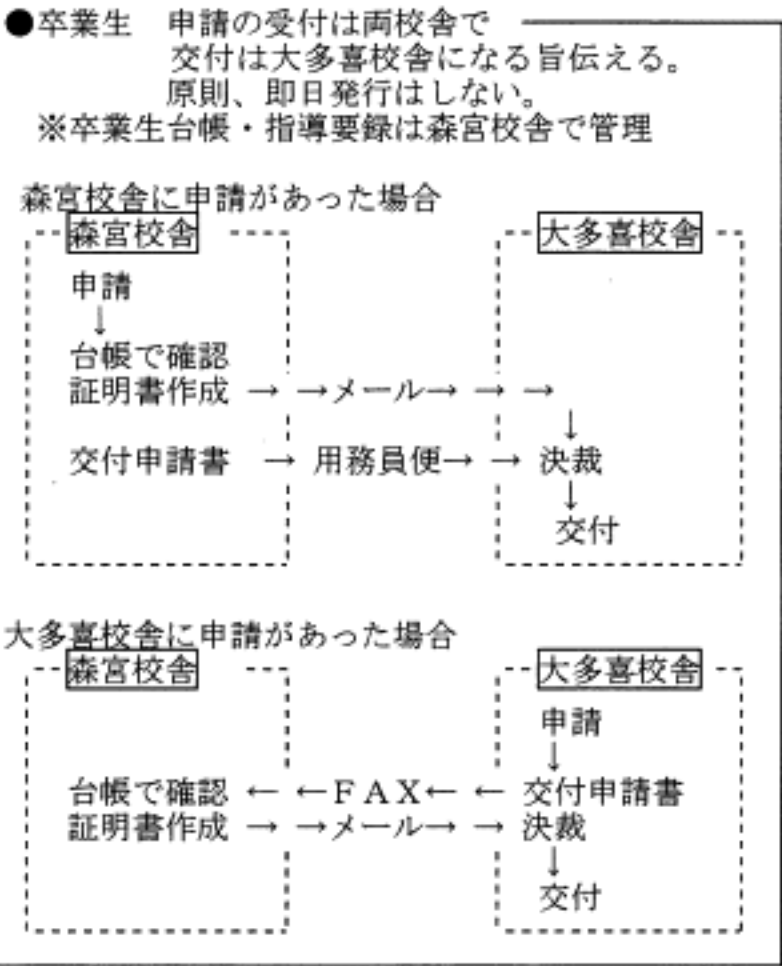
氏名
昭和 年 月 日生

上記の者は平成 年3月千葉県立☆☆高等学校
全日制の課程普通科を卒業したことを証明する。
(千葉県立☆☆高等学校は、統合により
平成 年 月 日から千葉県立●●高等学校に
校名改称)

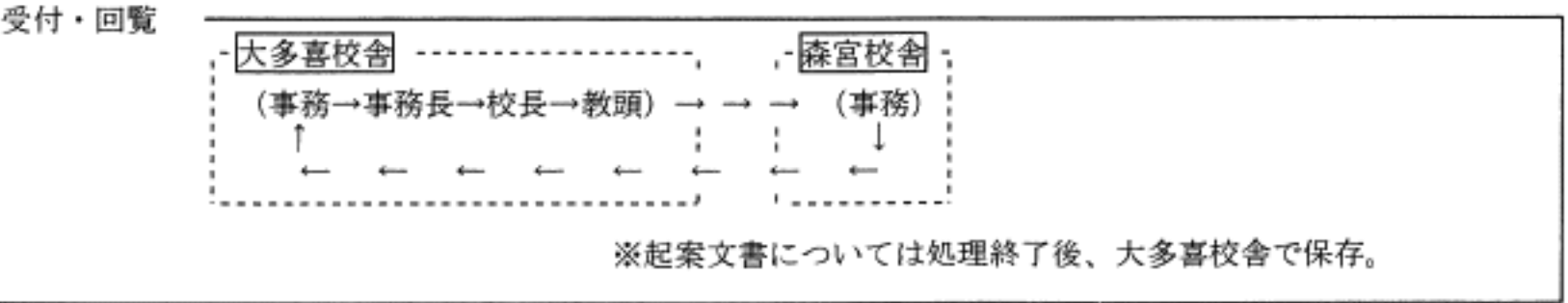
平成 年 月 日

千葉県立●●高等学校長 ○ ○ ○ ○

証明書 受付～交付までの例



文書処理の例



終わりに

高等学校再編は時代に対応した教育を行ううえで必要な見直しですが、統合や学科改編に係る事務は多岐にわたり、長い時間をかけて進められている事がわかりました。今、教育の在り方が大きく問われています。

この実施プログラムにより魅力ある高等学校づくりが進められ時代にふさわしい千葉の教育がさらに充実されることを期待します。

大多喜高等学校	主任主事	宇野晃子
岬高等学校	副主査	浜田ゆう子
勝浦若潮高等学校	主査	齋藤幸江
夷隅養護学校	副主査	吉田君江
(現)長狭高等学校	主査	中村美智子
(現)市原緑高等学校	主査	高木慎哉
(現)夷隅健康福祉センター	副主査	平野静枝